

Rotary MAEBASHI WEEKLY REPORT

2025-2026 | よいことのために手をとりあおう *Unite for good*

温故創新

2026. 2. 24 (火) 第3421回 例会報告

例会日…火曜日(18:00)～ピッツァリア ペスカ

(第1回 昭和28年9月8日創立)

ホームページ URL <https://www.maebashi-rc.jp/>

電子メールアドレス office@maebashi-rc.gr.jp maebashi@rid2840.jp

会 長…温井 尚久

幹 事…清水 雅弘

クラブ会報委員長…池島 邦和

編 集 者…宮下 学

ロータリー設立夜間例会

点 鐘 温井会長



ロータリーソング 「我等の生業」

会長報告・会長の時間 温井会長

ロータリークラブは1905年2月23日にシカゴで誕生しました。そこで、本日は、その日の出来事を物語風にお話します。

1905年の冬、シカゴは記録的な寒波に見舞われていた。2月23日の当日も街は北極気団の影響下にある極寒の夜であった。街を走る路面電車は凍結したレールの上を軋ませながら走り、人々は厚いオーバーコートに身を包み、石炭の煙が立ち込める薄暗い通りを足早に歩いていた。このような厳しい気候は、身体的な温もりだけでなく、精神的な「暖炉」としての人間関係への欲求をいっそう強めていたと考えられる。ハリスとシルがこの夜、わざわざ外出して会合を持ったことは、彼らにとってこの構想がいかに差し迫ったものであったかを物語っている。

1905年2月23日の夕刻、ポール・ハリスとシルベスター・シルは、シカゴのニア・ノースサイドにあった「マダム・ガリ」というイタリアン・レストランで落ち合った。二人はこの店で当時のシカゴでは珍しかった本格的なイタリア料理を囲んだ。食事中、ハリスはシルに対し、数年前から温めてきた構想を静かに、しかし情熱的に打ち明けた。「シルベスター、君も感じているだろう。この巨大な街には何千人もの若者が、我々と同じように故郷の村を離れてやってきている。しかし、ここでは皆が互いをライバルとしか見ていない。もし、異なる職業の者が一人ずつ集まり、政治や宗教の壁を超えて、ただ『友人』として助け合える場があったら、どれほど素晴らしいだろうか。」シルはその誠実な瞳でハリスを見つめ、深く頷いた。

彼はハリスの良き理解者として、この「相互扶助と友情」というシンプルなアイデアが、荒んだ都市のビジネス環境においてどれほど革新的な意味を持つかを直感していた。二人は食事を終えると、氷点下の風が吹き荒れるシカゴの夜の街へと歩き出した。シルが馴染みの店に立ち寄り、店主たちと親しく挨拶を交わす様子を見てハリスは改めて、ビジネスの中にある「友情の種」を確信したのである。

二人が向かったのは、ループ地区の中心、ディアボーン通り79番地に位置する「ユニティ・ビルディング」であった。ハリスとシルは、豪華な大理石の ホワイエ を通り、シルバー・メッキが施されたエレベーターに乗り込んだ。目的地は7階、711号室。鉱山技師ガスタバス・ローアの

事務所である。午後8時過ぎ、ハリスとシルが711号室の扉を開けると、そこにはガスタバス・ローアとハイラム・ショーレーが待っていた。ローアは二人を熱烈に迎えた。ハリスは、ローアのデスクを囲むように座った三人の仲間たちに向かって、自身の構想の全貌を説明し始めた。

ハリスの提案は、次のような骨子であった

- 1、会員は一つの職業につき一人に限定する。これにより、相互扶助を容易にし、競争ではなく協力を促す。
- 2、ビジネスの成功だけでなく、一人の人間としての孤独を解消し、真の友情を育む。
- 3、いかなる政治的信条や宗教的背景も、会員間の友情を妨げるものであってはならない。

ローアはこの提案に対し、賛同を示した。彼は、ビジネスに直結し、かつ都会の孤独を癒やすこの新しいクラブの形に大きな可能性を感じていた。仕立屋のショーレーも、故郷メイン州の小さな村で感じていた「顔の見える関係」をこのシカゴのど真ん中で実現できることに深い感銘を受けた。

この夜、四人の間で交わされたやり取りは、単なる事務的な手続きではなく、各々が抱えていた人生の寂寥感(せきりょうかん)を共有し、それを前向きなエネルギーへと変換する「儀式」のような趣を帯びていた。

1905年2月23日の出来事は、単なる過去の歴史的事実ではない。それは、技術革新と経済発展の中で人間が置き去りにされがちな現代社会において、改めて「真の友情」と「誠実な職業倫理」の重要性を問い直す物語である。ポール・ハリス、シルベスター・シル、ガスタバス・ローア、ハイラム・ショーレー。彼ら四人があの日、かわした対話は、100年以上経った今も、世界中のロータリークラブの会合の中で形を変えて繰り返されている。

異なる背景を持つ者が集まり、互いの違いを認め合い、共通の善のために行動する。このシンプルな、しかし最も困難な営みの原点が、あの日、シカゴ・ユニティ・ビルの小さな一室にあった。

孤独を抱えた一人の弁護士が、親友とイタリア料理を楽しむ、極寒の夜の街を歩き、仲間と語り合ったその数時間のやり取りは、人類が獲得した最も美しい社会契約の一つとして、これからも永遠に語り継がれていくことであろう。以上で会長の時間を終わります。



幹事報告 清水幹事

・次回3月3日の例会は群馬銀行です。理事会も開催されます。理事・役員の方には別途ご案内いたしますので、ご出席をお願いします。

出席報告

会員数：120名 欠席者：55名
出席者：65名 本日出席率：57.02%

ニコニコBOX

■小川 洋右…2月13日、お陰様をもちまして27回目の結婚記念日を迎えさせていただきました。その当日、神奈川の妻のもとに、お祝いのお花を頂戴いたしま

した。私も大変ありがたく存じております、それ以上に妻が大感激しております。「地域の皆さまにしっかりと貢献していっしょい」と妻から発破をかけられた私でございます。妻はすこぶる機嫌が良く、改めて、安心して、群馬の単身赴任生活を謳歌できることとなりました。皆さまのお心遣いに感謝申し上げます。

■紺 正行…結婚記念日にきれいなお花をお送りいただきありがとうございます。

ロータリーソング 「四つのテスト」

点 鐘 温井会長

懇 親 会



※クラブ会報は会員の敬称は略させていただきます